

家事手続案内の研究



監修	:	裁判所職員総合研修所
定価	:	本体 3,334 円＋税
判型	:	B5 判
ページ数	:	222 ページ(本文・付録 199 ページ)
ISBN	:	書店扱いあり
発行	:	平成 20 年 10 月

内容

家事手続案内は、国民に家庭裁判所の手続を利用しやすくし、家事事件の受付事務の円滑な処理に寄与することを目的として、家庭裁判所発足当初から行われている業務です。

本研究報告書は、家事手続案内担当者が行う業務だけではなく、利用者の来庁から家事手続案内担当者及び受付担当者の連携に至るまでの一連の業務が対象となって、家事实務の経験が少ない職員でも家事手続案内を容易に把握できるようその意義や目的、内容を整理し、具体例や参考となる工夫例をできるだけ多く取り入れてあり、分かりやすい報告書となっております。

本研究報告書は、総論部分に①家事手続案内を巡る問題と本研究の目的(第1章)、②家事手続案内の沿革、意義、目的、内容及び一般的な方法(第2章)、③心構えと技法(第3章)を記載し、各論部分のうち、基準となる具体的な方法は第4章に、庁の規模に合った家事手続案内の方法については第6章に、家庭問題を取り扱う関係機関については第7章に記載してあります。

なお、付録部分には、各事件を案内する場合の基準を示し、手続説明の効率化と円滑な処理を図るツールとして「手続説明書」を掲載してあります。

目次(抄)

第1章 はじめに	第4章 具体的な家事手続案内の方法	第4 裁判所ウェブサイトによる情報提供
第1 家事手続案内を巡る問題	第1 はじめに	第5 書面による問い合わせについての対応
第2 本研究の目的とポイント	第2 家事手続案内の申込み	第6章 庁の規模に合った家事手続案内
第2章 家事手続案内とは	第3 家事手続案内の開始	第1 大規模庁における家事手続案内
第1 沿革	第4 利用者のニーズの把握	第2 中規模庁における家事手続案内
第2 家事手続案内の意義と目的	第5 家事事件の振り分け	第3 小規模庁における家事手続案内
第3 家事手続案内の内容	第6 手続の紹介と申立意思の確認	第4 簡易裁判所における家事手続案内
第4 一般的な家事手続案内の方法	第7 申立説明	第7章 家庭問題を取り扱う関係機関
第3章 心構えと技法	第8 関係機関の紹介	第1 アクセスポイントとしての法テラス
第1 はじめに	第9 家事手続案内の終了	第2 法テラス以外の関係機関
第2 心構え	第10 家事手続案内の終了後の事務	第3 裁判によらない紛争解決機関－ADR 機関
第3 技法	第5章 電話等による家事手続案内	
第4 配慮を要する利用者	第1 はじめに	
第5 注意を要する対応	第2 電話による家事手続案内	
第6 緊急事態、事故が発生したときの対処	第3 自動音声サービスとファクシミリによる情報提供	
第7 家事手続案内の習得		